

# 学校だより

Vol.

# 115

2023年11月発行  
(2023.4~2023.9)

## Contents

- 02 入学式式辞
- 03 入学式代表学生 前期を終えて
- 04 インターンシップ報告
- 09 校内体育大会
- 10 学生の活躍
- 12 TOPICS
- 14 国際交流
- 15 磐陽寮
- 16 学生保健センター
- 17 地域貢献
- 18 福島KOSENコモンズ整備状況
- 19 起業家育成プログラム
- 20 校長先生就任あいさつ
- 21 三主事・専攻科長あいさつ
- 22 各科・各コースの近況
- 26 新任教職員紹介



独立行政法人国立高等専門学校機構

## 福島工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Fukushima College



# 第62回入学式

## 第六十二回入学式 及び 令和五年度編入学式 並びに 第二十回専攻科入学式 式辞(要約)

福島工業高等専門学校

校長 田口重憲

新入学生206名、編入学生4名、専攻科生20名の御入学を心からお祝い申し上げます。

本校では、皆さんが勉強するにあたり、「三つの教育理念」を定めています。

第一は、「広く豊かな教養と人間力の育成」です。科学技術を学ぶ目的は人類のWell Being（つまり幸福）に貢献するためにあると言われています。どのように人類の幸福に役立つかを考えるためには、幅広い教養と倫理観、さらに、人生における様々な困難に打ち克つ人間力を育成することが重要です。そして、この教養と人間力が、変化が著しい現代社会を生き抜く力、超スマート社会の中でAIに取って替わられない力になることを意識し、自らも広く豊かな教養と人間力の育成に励んでください。

第二は、「しっかりした基礎力に基づく創造性と実践性の育成」です。卒業後、幅広い分野で活躍できる創造的、実践的な人間となるためには、基礎知識に裏打ちされた柔軟な発想や企画力を保有する人材となる必要があります。福島高専では、学科横断的な授業や地域貢献活動への参加を通して実践的な人材を育成しています。皆さんには、創造性と実践性を兼ね備え、変化の著しい次世代社会で活躍できる人材に育ててもらいたいと思っています。

第三は、「国際性とコミュニケーション能力の育成」です。グローバル化に伴う国際競争の激化に伴い、我が国を取り巻く状況は激変してきています。このような背景を踏まえ、皆さんには英語力を向上させることは言うまでもなく、国際的価値観をSDGsなどを通じて学んでもらいます。異なった環境に住む相手の考え方を理解した上で、その相手とコミュニケーションをとれる能力を身につけて欲しいと思っています。

教育理念を達成するため、次の「四つの心構え」を念頭において勉強してください。

第一に、「ルールを守る」。規則・規律を守り、皆が学校で快適に生活出来るように努力してください。

第二に、「自ら学ぶ」。自ら疑問を持ち、自ら調べ、わからないところを質問して確認する姿勢を保ってください。常に目標を持ち、勉学の動機を失わず能動的に勉強してください。

第三に、「挑戦する」。地域貢献やインターシップそして課外活動にも挑戦してみてください。自らの学業と両立させながら様々な活動に参加し、集団や組織での活動能力やコミュニケーション能力を身につけてください。

第四に、「支え合う」。人は支えあって生きていくものです。お互い助け合いながら、高専生活を過ごすための仲間を作ってください。高専在学中の友人やクラスメート、クラブ活動の仲間は、一生の友人になります。この福島高専で学ぶ五年間は必ずや皆さんが実社会で生き抜く力を育ててくれます。日々、健康に気を付けて、夢と希望を持って勉学に励んでください。

次に、専攻科への入学生諸君。皆さんは、本科五年間で修得したことを基礎に、さらに高度な基礎科目と専門科目を学ぶこととなります。専攻科学生は、学会などで他大学の学部学生はもちろん大学院の学生と競いあうことも十分可能です。そして、専攻科二年の課程を終え、学位審査に合格すると、大学改革支援・学位授与機構から大学卒業と同じ学士の学位を得ることができます。皆さんは、学部レベルを超える専門能力を得られるでしょう。また、皆さんには、国際的な活躍が可能な基礎を育てていただきたいし、これからの超スマート社会を生き抜けるよう、広く豊かな教養と人間力を更に磨いていただきたいと思います。

学生諸君、人生を築くのは皆さん自身です。人は意志と努力によって人生を作り上げることができます。しっかりした自らの「意志」を持ってこれからの道を歩んでください。



## 前期を終えて



本科入学生代表

機械システム  
工学科 1年  
吉田 璃音

前期を振り返ってみたとき、中学生の頃と高専に入学してからの変化がとても大きく、なかなか慣れるのが難しかったということが印象に残っています。とても広い高専の敷地と沢山の建物、90分授業、レポート、前後期制、専門科目と実習、インターネットを使用した連絡や課題の提出、そして何より新しいクラスメイト達との生活など中学校時代との変化に苦戦することが多々ありました。しかし、クラスメイト達との助け合いや、先生方からの手助けによって前期を終えるころには入学したばかりの時に比べて、かなり高専生活に慣れることができたのではないかと感じました。

後期での目標はまだ明確には決まっていますが、何か一つ新しいことに挑戦してみようと考えています。また、後期は磐陽祭のような大きな行事もあるため全力で高専生活を楽みたいです。それと同時に、学校生活に慣れてきたからといって油断せずに、課題や定期テストにしっかりと取り組んでいきたいと思いました。



専攻科入学生代表

産業技術システム  
工学専攻  
社会環境システム  
工学コース 1年  
紺野 匠馬

4月からの半年を終えて、私は残りの1年半の学生生活で、将来の自分のために時間を有効に使うべきと考えました。普段の学業はもちろん大切ですが、インターンシップを通して、専攻科は本科から更にパワーアップして、研究や将来社会に出る際の武器に磨きをかける期間であると感じました。

研究はすぐに直接的に社会の問題が解決できる、役に立つものばかりとは限りませんが、1つのテーマに対して、PDCAサイクルを何度も繰り返し、その度により深く突き進むことにより、将来自分がやりたいものや、なりたいたい姿が少しずつ浮かんでくるのではないかと個人的に考えています。これは、現在高専に通っている本科生、そして、少し難しい話かもしれませんが、受験を考えている中学生や小学生にも知ってほしいと思っています。研究の他にも資格試験等を通し、本当の意味の技術者になりたいと、未熟ながらに思っています。

# インターンシップ報告



本校では、4・5年生と専攻科1年生に、「校外実習」「インターンシップ(A.B.C)」などの科目を設置し、企業などの協力を得て、インターンシップを実施しています。校外、実務の場に身を置くことで、技術者の役割を認識すること、学校で習得している知識が実社会でどのように活用されているかをそれぞれ学生が理解することを目的としています。

本校では、こうした経験を今後の学習に活かし、社会人として必要とされる知識などを卒業までに身につけるように、教育と指導を行っています。

## インターンシップで得たもの

機械システム工学科 4年 山崎 一星

私は8月21日から8月25日の5日間、製品がどのような工程、機械、技術で品質を維持しつつ生産されているのか学びたいと考え、ユニ・チャームプロダクツ株式会社(以下ユニ・チャームプロダクツ)のインターンシップに参加しました。ユニ・チャームプロダクツでは「NOLA&DOLA」(「不快」を「不快でない」状態へ、そして「不快でない」を「心地よい」へ変える)という企業理念を掲げ、これを目指して日々ベビーケア用品や生理用品、掃除用品、ペットケア用品、マスクなどを生産し提供しています。

実習では工場見学やメンテナンス、設備についての説明とベルト調整や有接点実習といった実際に手を動かしてみる作業を行い「製造」や「整備」につ

いて深く理解し、加えて社員さんへの質問やグループワーク、品質の実験を通して社会人の心構えや協調性、モノづくりにおける「品質」の重要性を習得・再確認しました。

高専の授業と重ねてみて「物を加工する・作る」際に何を意識すればいいのか、品質に問題はないのか、無駄なことはしていないかといった機械科に所属するうえで欠かせない視点や考え方を得られました。最後に、暖かく丁寧にご指導いただいた社員の皆様へ感謝申し上げます。



## インターンシップ報告

電気電子システム工学科 4年 荻津 桜子

私は福岡県にある株式会社北拓北九州支店での5日間のインターンシップに参加しました。北拓は風力発電メンテナンスサービスを専門とする企業です。

まず、講義では風力発電の仕組みやO&M、再生可能エネルギーや高所作業での安全対策について学びました。実習ではブレードメンテナンス、内視鏡を使った増速機のメンテナンス、ロープを使った高所作業、風車実機の定期点検などを体験しました。特に印象に残っているのは風車にのぼったことです。タワーの中は暑く、その中で作業するのはとても大変だと思いました。ただ頂上からの景色はとても綺麗で1番の思い出になりました。最終日にはグ

ループワークの「日本、地元地域でカーボンニュートラルを盛り上げるためには?」と個人ワークの「仕事とは何か」という課題についての報告会がありました。北拓の皆さまはお忙しいなか講義や研修を丁寧にしていただき、また個人ワークについてお話を伺って皆さまの技術や知識の深さだけでなく人間性に大変感銘を受けました。

短い期間のインターンシップではありましたが、再エネについて風力発電を中心に詳しく学び、貴重な経験ができ、充実したインターンシップになりました。



## インターンシップを経験して

化学・バイオ工学科4年 蛭田 帆香

私は東亜合成株式会社広野工場にて5日間のインターンシップを行いました。5日間で各課を回って様々な体験をさせていただきました。1日目に東亜合成という会社が全体で取り組んでいる事業について説明を受け、東亜合成が製品の生産だけでなく、社員さんたちにとって働きやすい環境を作ろうとしていることがわかり、とても良い印象を受けました。2日目に操業課にて広野工場内を見学しました。広野工場では粉体と液体の製品を生産していて、それら製品ができるまでの流れを見学しました。見学中、一緒に回ってくれた社員さんがすれ違う社員さんたち全員と会話していて、社員さんたちの仲の良さが伝わりとても印象的でした。工場に限らず、日ごろのコミュニケーションが大きな事故を事前に防ぐた

めに重要という話を1日目に聞いていて、そのことが会社全体に浸透していて実施されているのだとわかりました。インターンシップを通して働くことへのイメージが今までよりも明確になり、なにより5日間とても楽しかったです。インターンシップでの経験を活かして高専での勉強に励みます。



## インターンシップに参加して

都市システム工学科4年 門脇 真音

私は将来土木の施工管理職に就きたいという目標があり、今回のインターンシップでより実際の業務について理解度を高めたいという目的を持って参加しました。大林組、鹿島建設株式会社、飛鳥建設、日本ファブテック株式会社(敬称略)にて学んだことを簡単に紹介いたします。

大林組、鹿島建設株式会社では、実際の施工管理業務として測量や安全計算・品質管理などを体験させていただき、社会人となった時どのような働き方をしているのかより明確にイメージできるようになりました。

飛鳥建設ではセミナー型のインターンシップに参加しました。建設業界やDX化に向けた新たな取り組みについて、時にはゲームや現場見学、グループワークも交えながら学ぶことができ、より広い視点から業界について向き合えるようになったと感じています。

鋼橋メーカーである日本ファブテック株式会社では、設計業務に重きを置いて教えていただき、施工管理以外の今後のキャリアについて考える良い機会となりました。

私にとって現場の雰囲気や肌で体感出来た事、自分の未熟さに気付けた事が特に大きな財産だと感じています。この場を借りまして温かいご指導賜りました皆様へ心より感謝申し上げます。



## インターンシップを終えて

ビジネスコミュニケーション学科4年 佐々木 綾乃

私は、株式会社ハニーズホールディングス様のインターンシップに参加させていただきました。私がお世話になったのは経理部で、経理課・財務課・売上管理課の業務を体験させていただきました。この実習へ参加した理由は、学校で学んだ知識が実務でどう活かされるのか見てみたかったことと、自分に適性があるのかを確認したかったからです。初日に会社説明と物流センターを見学し、それ以降は、経理部にある3つの課をまわり、船積書類の確認や売上精算入力、伝票の記票、未払金の処理、固定資産の除却などを行いました。

今回の実習を通じて、経理の仕事には「正確性」

が求められることがわかりました。想像以上に日常業務が多く、書類や資料の多くはお金にまつわるものであるため、社員の皆さんがいかに書類に気を使っているのかを知ることができました。また、税法、会社法、為替動向など、常に変化するものに対して勉強を怠らない姿勢が大切だと感じました。

5日間という短い間ではありましたが、具体的な実務内容についてお話を伺い、実際に携わらせていただけたことは、大変貴重な経験となりました。受け入れてくださったハニーズの皆様、本当にありがとうございました。

## インターンシップ報告 産業技術システム工学専攻 生産・情報システム工学コース1年 根本 結友

私は株式会社エビデントのインターンシップに参加しました。エビデントはオリンパス株式会社から分社化した会社で、私が参加した長野事業場では主に顕微鏡や工業用内視鏡などの製造・修理を行っています。今回私は、既製品の特注製品の開発・設計から製造、納品までを担うカスタムソリューションという部門で実習体験をさせていただきました。主な実習内容としては、図面および3DCADを参考にしながら行う製品の組立作業やモデリングの体験、また組立作業中に感じた懸念点を改善するための治具の設計・製作を行いました。私はこの実習を通し、「ものづくりを行う技術者」として必要なスキルについて理解を深めることが出来ました。具体的には、顧客の要望を理解し丁寧に製品を組み立てること、また業務を円滑かつ確実にを行うために仲間

や顧客と深くコミュニケーションをとることなどが挙げられます。また、これまで高専の授業で経験してきた「ある課題について解決策を考える」ということを、実際の業務において行うという貴重な経験もすることが出来ました。今回の実習で得られたこれらのことを、今後の学生生活や就職活動に活かしていきたいと考えています。



## インターンシップ活動報告 産業技術システム工学専攻 エネルギーシステム工学コース1年 小田長優太

私は、9月4日から9月8日の5日間、愛知県豊田市にあるトヨタプロダクションエンジニアリング(TPEC)でインターンシップを実施しました。TPECとは、トヨタの自動車の製造工程で使用する部品やロボットの設計、溶接や鋳造の工程のシミュレーションを行う会社です。

今回のインターンシップで学んだことの1つ目はコミュニケーションの重要性です。業務見学において多くの社員がグループで作業をされていました。グループで作業することは、新たな発想が生まれやすいことや、問題点を発見しやすくなるメリットがあります。

2つ目は効率の向上への努力です。自動車を大量生産するために、生産ロスを極力減らさなければなりません。生産に移る前に、コンピュータで作業工

程のシミュレーションを綿密に行い、ロボットアームをスムーズに動かす方法などを検討します。鋳造においても材料の流入具合をシミュレーションすることで不良品の発生を抑えます。

一人ではなく、チームのメンバーやコンピュータと協力して物事に取り組む姿勢は、高専での日常生活に生かせる重要な要素であると感じました。



## インターンシップを経験して 産業技術システム工学専攻 化学・バイオ工学コース1年 熊耳 遥

インターンシップとして2週間、筑波大学の農産食品加工研究室に伺いました。農産食品加工研究室では、農産物や食品からバイオマスまでの幅広い地域資源を対象として、それらを安全かつ持続的に有効利用するための加工・変換プロセスと非破壊品質計測法を研究しています。研究室で取り組まれている様々なテーマは、食のパーソナライズ化や食料危機の解決、環境問題の緩和などに貢献する可能性を秘めていると強く感じました。

北村先生、粉川先生、そして学生の皆様に丁寧に指導していただき、研究の方法や考え方、発表の技術などに触れることができました。また、研究の面白さや複雑さを改めて実感することができ、大変有意義な2週間となりました。

インターンシップを通して私は、農産食品加工に

関する研究に今まで以上に強く興味を持つようになりました。「食品業界に関わる」といった将来の目標にも繋がっており、もっと学びを深めたいと思っています。農産食品加工研究室での経験は、私にとって忘れられないものとなりました。お忙しい中、非常に充実したインターンシップを行っていただき、ありがとうございました。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。



## インターンシップ報告 産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース1年 紺野 匠馬

私は、8月28日から9月1日までの5日間、東京電力ホールディングス株式会社のインターンシップに参加させていただきました。

東京電力は、日本の人口の1/3以上が集積する首都圏を中心に、高品質の電力を安定的に供給しており、停電回数、時間では世界トップクラスの安定性を維持しています。

インターンシップでは、主に福島第一原子力発電所の見学を通して、福島への責任や、社会からの信頼を得るために、日々安全を追及していること、土木技術者としてインフラを支えるために必要なことについて教えていただきました。

私はインターンシップを通して、自分自身の目で見て、体験することで、何が正しいのかという本質を理解できることを学びました。原発見学の際に、他の参加生からは、放射線を浴びるのが怖いという

声が多くありましたが、様々な対策が施されていることにより、何が安全なのかを正しく理解することで、最終的には、見学に行けて良かったという声に変わっていました。また、他の参加生からは多くの刺激をもらい、今後、私が目指すべき目標を新たに立てることができました。インターンシップで大変お世話になりました皆様に、心より感謝申し上げます。



## インターンシップを経験して ビジネスコミュニケーション専攻 ビジネスコミュニケーションコース1年 岡部 主佑

私は、いわき農林事務所 企画部といわき市役所 危機管理部 危機管理課にてインターンシップを実施いたしました。公務員になりたいという思いがあり、この2か所でのインターンシップを希望しました。いわき農林事務所 企画部では、主に農林業に関して現地調査を行ったり、6次化商品を販売する店舗への取材に同行させていただいたり、食品表示



状況を実際に店舗に赴き調査したりと、かなり濃密な5日間を過ごさせていただきました。農林業に関する知識を今まで以上に深めることができたように思います。また、いわき市役所 危機管理部 危機管理課では、テントや段ボールベッドなどの災害時備蓄品を実際に組み立てる作業やトイレカーの見学、さらには民間企業などとの協議や小学校の出前講座への参加など、こちらも充実した5日間を過ごさせていただきました。防災に対する意識が深まり、災害について考える機会になりました。今回のインターンシップを通して、私は県庁職員と市役所職員の業務について知ることができ、また、将来に向けて一層勉学に励みたいと思えました。計10日間、2か所の職員のみなさまには大変お世話になり、本当にありがとうございました。



## インターンシップ協力企業等一覧 ご協力に感謝申し上げます

(学科別に順不同)

### 機械システム工学科

ANA整備部門グループ会社 (e.TEAM ANA)  
DMG森精機株式会社  
旭化成株式会社  
オークマ株式会社  
株式会社JALエンジニアリング  
株式会社JERA  
株式会社アイチコーポレーション  
株式会社エニバ(高専塾ナレッジスター)  
株式会社クレハ  
株式会社シーイーシー  
株式会社シグマ  
株式会社シマノ  
株式会社日建技術コンサルタント  
キャノン株式会社  
近畿大学  
三共技研工業株式会社  
三洋化成工業株式会社  
ダイキン工業株式会社  
東海大学  
東急電鉄株式会社  
名古屋電機工業株式会社  
日本原子力研究開発機構  
日本アルゴリズム株式会社  
パナソニック インダストリー株式会社  
ファナック株式会社  
富士フイルム株式会社  
三菱重工業株式会社  
三菱重工冷熱株式会社  
三菱電機ビルソリューションズ株式会社  
ムラテックCCS株式会社  
ユニ・チャームプロダクツ株式会社

### 電気電子システム工学科

ANA整備部門グループ会社 (e.TEAM ANA)  
MGCエレクトロテック株式会社  
NECネットエスアイ株式会社  
NTT東日本グループ会社  
NTTアノードエナジー株式会社  
TOWA株式会社  
アルプスアルパイン株式会社  
池上通信機株式会社  
花王ロジスティクス株式会社  
株式会社ヴィッツ  
株式会社エビデント  
株式会社クリエイティブキャスト  
株式会社シグマ  
株式会社東京エネシス  
株式会社トーテックアメニティ  
株式会社東北村田製作所  
株式会社東日本計算センター  
株式会社北拓  
株式会社ユーテック  
株式会社レアゾン・ホールディングス  
セコムトラストシステムズ株式会社  
ソニセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社山形テクノロジセンター  
東京大学先端技術研究センター  
東京電力ホールディングス株式会社  
日商エレクトロニクス株式会社  
日本ケミコン株式会社 高萩工場

日本無線株式会社  
三浦工業株式会社  
三菱電機ビルソリューションズ株式会社

### 化学・バイオ工学科

Daigasグループ  
いわき市役所  
花王株式会社  
カゴメ株式会社  
株式会社アルピオン  
株式会社クレハ分析センター  
株式会社北拓  
クリナップ株式会社  
公益財団法人ふくしま海洋科学館  
サントリーグループ(サントリープロダクツ・サントリー)  
第一三共ケミカルファーマ株式会社  
第一三共プロファーマ株式会社  
大陽日酸株式会社  
東亜合成株式会社 広野工場  
東京大学先端技術研究センター  
東京農工大学  
東北大学  
日東電工株式会社  
農業・食品産業技術総合研究機構  
メビウスパッケージング株式会社  
メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社

### 都市システム工学科

飛鳥建設株式会社  
いであ株式会社  
いわき市役所  
鹿島建設株式会社  
株式会社東コンサルタント  
株式会社エンドウ  
株式会社大阪防水建設社  
株式会社大林組  
株式会社片平新日本技研  
株式会社建設環境研究所  
株式会社郡山測量設計社  
株式会社ザイマックス  
株式会社ドーコン  
株式会社フジタ  
株式会社復建技術コンサルタント  
株式会社ベクトル・ジャパン  
株式会社北拓  
株式会社横河ブリッジホールディングス  
極東興和株式会社  
国土交通省東北地方整備局  
五洋建設株式会社  
日栄地質測量設計株式会社  
日本製鉄株式会社  
日本ファブテック株式会社  
東京水道株式会社  
東京大学先端技術研究センター  
東北大学  
豊橋技術科学大学  
長岡技術科学大学  
東日本高速道路株式会社  
舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター  
三井住友建設株式会社

### ビジネスコミュニケーション学科

NECネットエスアイ株式会社  
TOA株式会社  
会津若松市役所  
いわき市役所  
加賀FEI株式会社  
株式会社clementec  
株式会社Dynax  
株式会社NTT東日本-東北  
株式会社いわきスポーツクラブ  
株式会社クリエイティブキャスト  
株式会社ザイマックス・株式会社ザイマックス関西  
株式会社佐藤農園  
株式会社奈良屋  
株式会社ネットブレインズ  
株式会社ハニーズホールディングス  
株式会社東日本計算センター  
株式会社森ファーム  
河井順行税理士事務所  
合同会社Ceep  
サンキュー日本語教育センター  
セコムトラストシステムズ株式会社  
テコム株式会社  
東芝ITサービス株式会社  
林野庁

### 専攻科

ANA整備部門グループ会社 (e.TEAM ANA)  
IUT Le Havre  
James Cook University  
J X 金属株式会社  
TMES株式会社  
旭化成株式会社  
いわき市役所  
株式会社SCREEN SPE テック  
株式会社いわき印刷企画センター  
株式会社エビデント  
株式会社大林組  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
株式会社クレハ  
株式会社建設技術研究所  
株式会社トヨタプロダクツエンジニアリング社  
株式会社日本触媒  
株式会社ハニーズホールディングス  
合同会社Ceep  
コスモ石油株式会社  
清水建設株式会社  
筑波大学  
東京電力ホールディングス株式会社  
長崎大学  
日本工営株式会社  
東日本高速道路株式会社  
福島県庁  
福浜第一建設株式会社  
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社  
陸奥テックコンサルタント株式会社

# 校内体育大会

9月28日(木)・29日(金)、秋晴れの穏やかな天気のもと、校内体育大会が盛大に行われました。昨年度は、観戦者数等の制限をかけていましたが、今年度はコロナ禍前の本来の形で校内体育大会が実施されました。

競技はサッカー、バスケ、バレー、バドミントン、ドッチボール、ソフトボール、綱引き、学科対抗リレーの8種目で行いました。競技において学生たちは、真剣かつ楽しんでプレーをしており、また、各クラスの応援も相まって、大会は大きな盛り上がりを見せました。学年ごとでは、1年は機械システム工学科、2年は都市システム工学科、3年は電気電子システム工学科、4、5年は都市システム工学科が優勝し、総合優勝は都市システム工学科となりました。

本大会は、実行委員長の内藤祥君(4年機械システム工学科)を中心とした実行委員会が企画運営を行い、各クラス体育委員と関係クラブの協力のもと、クラス内や友人との絆を深めるイベントとなりました。



### 第60回東北地区高等専門学校体育大会結果

**■陸上競技**  
(男子)  
学校対抗 第1位  
100m 箱崎 優大 (5M) 第1位  
200m 町屋 慶明 (5E) 第2位  
400m 山田 勇尊 (4B) 第3位  
800m 草野 航輝 (1M) 第1位  
" 船山 拓人 (4E) 第2位  
1500m 草野 航輝 (1M) 第1位  
" 木村凌太郎 (3T) 第2位  
110mH 箱崎 優大 (5M) 第1位  
" 渡部 旭 (3T) 第2位  
" 山田 勇尊 (4B) 第3位  
3000mSC 阿部 拓人 (4E) 第2位  
4×100mR (松本・箱崎・町屋・笠井) 第2位  
4×400mR (松本・山田・町屋・箱崎) 第1位  
走高跳 下山田陽登 (4C) 第1位  
棒高跳 馬上 公佑 (2E) 第2位  
走幅跳 町屋 慶明 (5E) 第1位  
三段跳 馬上 公佑 (2E) 第1位  
" 笠井 真夢 (4E) 第3位  
砲丸投 小川 大稀 (3M) 第1位  
円盤投 小川 大稀 (3M) 第1位  
やり投 松本安友武 (3M) 第2位  
(女子)  
学校対抗 第3位  
100m 佐藤 璃佳 (3B) 第3位  
走幅跳 佐藤 璃佳 (3B) 第1位  
4×100mR (白石・佐藤・三部・渋木) 第2位  
やり投 國井 杏夏 (4B) 第1位

**■バスケットボール**  
(男子) 福島 57-62 八戸  
(女子) 福島 47-103 秋田  
" 福島 50-64 仙台名取  
" 福島 38-84 秋田  
" 福島 56-62 八戸

**■バレーボール**  
(男子)  
予選リーグ Bブロック  
福島 2-0 仙台名取 第1位  
福島 2-1 一関  
福島 2-1 鶴岡  
決勝トーナメント 最終結果  
福島 2-0 秋田 第2位  
福島 1-2 八戸  
(女子)  
予選リーグ Aブロック  
福島 2-0 鶴岡 第1位  
福島 2-0 秋田  
決勝トーナメント 最終結果  
福島 2-0 八戸 第1位  
福島 2-0 鶴岡

**■ソフトテニス**  
(男子)  
団体戦 猪狩 浩葵 (3E) 第1位  
個人戦 橋本 大知 (4T) 第1位

**■テニス**  
(男子)  
ダブルス 鈴木 悠斗 (5T) 第2位  
黒木 理都 (5B) 第2位  
(女子)  
団体戦 第1位  
シングルス 佐藤 可菜 (4B) 第3位  
ダブルス 鈴木 聖奈 (3B) 第1位  
佐藤 琴心 (5B) 第1位

**■柔道**  
個人戦  
73kg級 佐藤 雅倫 (1C) 2回戦敗退  
81kg級 堀越 光翔 (5M) 2回戦敗退  
" 渡辺 翔貴 (5C) 2回戦敗退  
無差別級 八巻 広陵 (5C) 2回戦敗退

**■サッカー**  
福島 0-0 秋田 (PK勝利)  
福島 1-4 仙台名取

**■水泳競技**  
(男子)  
学校対抗 第1位  
50m自由形 馬上 隼 (5E) 第5位  
200m自由形 丹野 湊斗 (2C) 第5位  
鈴木 悠磨 (1M) 第5位  
400m自由形 西山 遙人 (2M) 第1位  
渡邊 颯太朗 (1B) 第3位  
800m自由形 渡邊 颯太朗 (1B) 第2位  
丹野 智晴 (1M) 第3位  
重村 知知 (2M) 第5位  
100m背泳ぎ 渡部 剛大 (2M) 第4位  
西山 駈 (4C) 第5位  
関内 悠輝 (5E) 第8位  
200m背泳ぎ 渡部 剛大 (2M) 第4位  
西山 駈 (4C) 第6位  
関内 悠輝 (5E) 第7位  
100m平泳ぎ 酒井 優磨 (2M) 第4位  
八木まなと (4M) 第5位  
200m平泳ぎ 八木まなと (4M) 第4位  
小林 幸裕 (1B) 第6位  
100mバタフライ 丹野 智晴 (1M) 第3位  
200mバタフライ 渡邊 瑞樹 (4M) 第3位  
200m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第1位  
酒井 優磨 (2M) 第5位  
4×100mフリーリレー (渡邊・丹野・酒井・西山) 第4位  
4×200mフリーリレー (渡邊・丹野・酒井・西山) 第2位  
4×100mメドレーリレー (渡邊・丹野・酒井・西山) 第2位

(女子)  
学校対抗 第1位  
50m自由形 伊東 波 (4C) 第6位  
100m自由形 大谷 倫世 (1C) 第3位  
柳内 美瑠 (5T) 第4位  
伊東 優希 (1B) 第5位  
200m自由形 大谷 倫世 (1C) 第1位  
工藤 風彩 (5C) 第2位  
柳内 美瑠 (4T) 第3位  
50m背泳ぎ 伊東 波 (4C) 第2位  
平山 亜美 (1B) 第3位  
100m平泳ぎ 南 花林 (1T) 第5位  
鈴木 華 (2T) 第6位  
200m平泳ぎ 南 花林 (1T) 第1位  
鈴木 華 (2T) 第2位  
50mバタフライ 工藤 風彩 (5C) 第1位  
菅野いちご (5T) 第2位  
100mバタフライ 平山 亜美 (1B) 第2位  
菅野いちご (5T) 第3位  
4×50mフリーリレー (平山・伊東波・南・大谷) 第2位  
4×100mフリーリレー (伊東波・工藤・菅野・柳内) 第2位  
4×50mメドレーリレー (伊東波・鈴木・平山・菅野) 第2位

**■剣道**  
(男子)  
団体戦 第1位  
個人戦 鈴木健太郎 (1E) 第1位  
鈴木 勇作 (3T) 第2位  
七海 杏太郎 (1T) 第3位  
(女子)  
個人戦 須藤 翠 (3C) 第3位

**■バドミントン**  
(男子)  
ダブルス 柴宮 颯 (4E) 第3位  
大谷 柊斗 (3T) 第3位  
伊藤 龍臣 (1M) 第3位  
若松 祐希 (1M) 第3位  
(女子)  
シングルス 大石 愛陽 (2T) 第1位

**■卓球**  
(男子)  
団体戦 第3位  
シングルス 清野 雅仁 (2M) 第2位  
ダブルス 清野 雅仁 (2M) 第2位  
王 優世 (1C) 第3位  
(女子)  
団体戦 第2位  
シングルス 岡田 紗季 (3T) 第3位  
ダブルス 岡田 紗季 (3T) 第3位  
永山 和奏 (1C) 第1位

### 第58回全国高等専門学校体育大会結果

**■陸上競技**  
◎長岡高等(デンカビッグスワンスタジアム)  
(男子)  
学校対抗 第3位  
1500m 木村凌太郎 (3T) 第6位  
110mH 箱崎 優大 (5M) 第1位  
大会新記録  
400mH 箱崎 優大 (5M) 第2位  
走高跳 下山田陽登 (4C) 第3位  
走幅跳 町屋 慶明 (5E) 第1位  
三段跳 馬上 公佑 (2E) 第7位  
円盤投 小川 大稀 (3M) 第7位  
4×100mR (渡部・箱崎・町屋・松本) 第6位  
4×400mR (松本・渡部・町屋・箱崎) 第4位

**■バドミントン**  
◎東京都立産業技術高専  
(水元総合スポーツセンター)  
(女子)  
シングルス 大石 愛陽 (2T) 第1位

**■バレーボール**  
◎茨城高専  
(ひたちなか市総合運動公園総合体育館)  
(女子)

予選リーグ  
福島 2-0 木更津 予選リーグ敗退  
福島 0-2 鈴鹿

**■卓球**  
◎茨城高専  
(ひたちなか市総合運動公園総合体育館)  
(男子)  
シングルス 清野 雅仁 (2M) 予選敗退  
(女子)  
ダブルス 岡田 紗季 (3T) 予選敗退  
永山 和奏 (1C) 予選敗退

**■ソフトテニス**  
◎東京高専(サニーインむかいテニスコート)  
(男子)  
団体戦 予選リーグ敗退  
個人戦 猪狩 浩葵 (3E) 第1位  
橋本 大知 (4T) 第1位  
3回戦敗退

**■水泳**  
◎長野高専  
(長野運動公園総合運動場総合市民プール)  
(男子)  
400m自由形 西山 遙人 (2M) 第8位  
渡邊 颯太朗 (1B) 第13位

800m自由形 丹野 智晴 (1M) 第11位  
渡邊 颯太朗 (1B) 第13位  
200m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第6位  
4×100mメドレーリレー (渡邊・酒井・丹野・西山) 第8位

**■テニス**  
◎東京高専(有明テニスの森公園)  
(男子)  
ダブルス 鈴木 悠斗 (5T) 1回戦敗退  
黒木 理都 (5B) 1回戦敗退  
(女子)  
団体戦 第3位  
ダブルス 鈴木 聖奈 (3B) 3回戦敗退  
佐藤 琴心 (5B) 3回戦敗退

**■剣道**  
◎木更津高専  
(千葉県総合スポーツセンター)  
(男子)  
団体の部 第3位  
(女子)  
個人の部 須藤 翠 (3C) ベスト8

# 第69回福島県高等学校体育大会結果

**■陸上競技 (男子)**  
 110mH 渡部 旭 (3T) 第4位  
 八種競技 松本安友武 (3M) 第2位  
 円盤投 小川 大稀 (3M) 第8位

**■バレーボール (男子)**  
 2回戦敗退

**■ソフトテニス (男子)**  
 団体戦 1回戦敗退  
 個人戦  
 猪狩 浩葵 (3E)  
 若松 勇汰 (3T) 1回戦敗退  
 大谷 幸詩 (3T)  
 堀田 直希 (3M) 1回戦敗退

**■卓球競技 (男子)**  
 学校対抗ダブルス 2回戦敗退  
 清野 雅仁 (2M)  
 王 優世 (1C) 1回戦敗退  
 シングルス  
 清野 雅仁 (2M) 1回戦敗退

**(女子)**  
 学校対抗ダブルス 2回戦敗退  
 岡田 紗季 (3T)  
 永山 和奏 (1C) 1回戦敗退  
 シングルス  
 岡田 紗季 (3T) ベスト32  
 永山 和奏 (1C) 2回戦敗退  
 仲村 香穂 (1B) 1回戦敗退

**■バドミントン (男子)**  
 ダブルス  
 伊藤 龍臣 (1M)  
 若松 祐希 (1M) 1回戦敗退

**■弓道競技 (男子)**  
 個人競技 長瀬 匠真 (3T) 準決勝敗退  
 小葉 司 (3E) 予選敗退

**(女子)**  
 個人競技 山野邊 天 (3C) 予選敗退  
 南 沙奈 (2C) 予選敗退

**■水泳 (男子)**  
 1500m自由形 渡邊琥太郎 (1B) 第6位  
 丹野 智晴 (1M) 第7位  
 100m平泳ぎ 酒井 優磨 (2M) 第8位  
 200m平泳ぎ 酒井 優磨 (2M) 第4位  
 200m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第6位  
 400m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第2位  
 4×100mフリーリレー (渡邊・丹野・酒井・西山) 第5位

**■陸上競技**  
 ◎第63回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会 (男子)

棒高跳 馬上 公佑 (2E) 第4位  
 三段跳 馬上 公佑 (2E) 第2位

**■水泳競技**  
 ◎第58回福島県高等学校新人体育大会水泳競技大会 (男子)  
 200m自由形 渡邊琥太郎 (1B) 第10位  
 400m自由形 西山 遙人 (2M) 第4位  
 丹野 智晴 (1M) 第7位  
 200m背泳ぎ 渡部 剛大 (2M) 第9位  
 100mバタフライ 丹野 智晴 (1M) 第10位  
 200m個人メドレー 渡邊琥太郎 (1B) 第8位  
 400m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第6位  
 4×100mメドレーリレー (渡邊・西山・丹野智・丹野湊) 第6位  
 4×100mフリーリレー (渡邊・丹野智・丹野湊・西山) 第4位

**(女子)**  
 100m背泳ぎ 平山 亜美 (1B) 第9位  
 200m背泳ぎ 平山 亜美 (1B) 第7位

## インカレ大会結果

**■陸上競技 (男子)**  
 ◎第76回東北学生陸上競技対校選手権大会  
 110mH 箱崎 優大 (5M) 第2位  
 走幅跳 町屋 慶明 (5E) 第1位  
 ◎第45回北日本学生陸上競技対校選手権大会  
 110mH 箱崎 優大 (5M) 第1位  
 走幅跳 町屋 慶明 (5E) 第9位

◎天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会  
 110mH 箱崎 優大 (5M) 予選敗退  
 走幅跳 町屋 慶明 (5E) 予選敗退

## 東北高等学校体育大会結果

**■陸上競技 (男子)**  
 ◎第28回東北高等学校新人陸上競技選手権大会  
 棒高跳 馬上 公佑 (2E) 予選敗退  
 三段跳 馬上 公佑 (2E) 第10位

**■水泳**  
 ◎第71回東北高等学校選手権水泳競技大会 (男子)  
 1500m自由形 渡邊琥太郎 (1B) 第23位  
 100m平泳ぎ 酒井 優磨 (2M) 予選敗退  
 200m平泳ぎ 酒井 優磨 (2M) 予選敗退  
 200m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 予選敗退  
 400m個人メドレー 西山 遙人 (2M) 第10位  
 4×200mメドレーリレー (渡邊・丹野・酒井・西山) 予選敗退

## 福島県総合スポーツ大会結果

◎第76回福島県総合スポーツ大会  
**■陸上競技 (男子)**  
 110mH 箱崎 優大 (5M) 第2位  
 400mH 箱崎 優大 (5M) 第3位  
 走幅跳 町屋 慶明 (5E) 第5位

4×400mR (松本・渡部・町屋・箱崎) 第4位

**■バレーボール (男子)**  
 2回戦敗退

**■ソフトテニス (男子)**  
 個人戦 宮澤 宏遙 (2E)  
 齋藤 權里 (2E) 1回戦敗退

**■卓球 (男子)**  
 シングルス  
 清野 雅仁 (2M) 3回戦敗退  
 鈴木 翔太 (3T) 2回戦敗退  
 王 優世 (1C) 2回戦敗退  
 柴田 晃希 (1C) 2回戦敗退

**(女子)**  
 シングルス  
 岡田 紗季 (3T) ベスト32  
 永山 和奏 (1C) ベスト32  
 仲村 香穂 (1B) ベスト32  
 湯田ひなの (1T) 1回戦敗退

**■弓道競技 (女子)**  
 遠的競技 山野邊 天 (3C) 第48位  
 個人競技 山野邊 天 (3C) 第48位  
 近的競技 山野邊 天 (3C) 第48位  
 個人競技 山野邊 天 (3C) 第48位

**■硬式野球**  
 ◎第75回秋季東北地区高等学校野球福島県大会 1回戦敗退

**■サッカー**  
 ◎第102回全国高等学校サッカー選手権大会福島県大会 2回戦敗退

## 各協会・連盟主催大会等

**■卓球**  
 ◎令和5年度全日本卓球選手権大会福島県予選会  
 混合ダブルス  
 鈴木 翔太 (3T)  
 岡田 紗季 (3T) 2回戦敗退  
 男子ダブルス  
 清野 雅仁 (2M)  
 王 優世 (1C) 1回戦敗退  
 男子シングルス  
 王 優世 (1C) ベスト32  
 (ジュニアの部)  
 清野 雅仁 (2M) 2回戦敗退  
 男子シングルス (一般の部)  
 鈴木 翔太 (3T) 1回戦敗退  
 女子ダブルス  
 岡田 紗季 (3T)  
 永山 和奏 (1C) 2回戦敗退

## 各種大会等の結果

**■将棋部**  
 ◎第59回全国高等学校将棋選手権大会福島県大会  
 個人戦 吉田 詩桜 (2M) 予選敗退  
 長谷川 舜 (1E) 予選敗退

◎第30回全国高等専門学校将棋大会  
 団体戦 久保木啓承 (5E) 準優勝  
 大塚 章最 (3C)  
 吉田 詩桜 (2M)  
 個人戦 大塚 章最 (3C) ベスト16

**■吹奏楽部**  
 ◎第61回福島県吹奏楽コンクール大学の部 銀賞

**■演劇部**  
 ◎令和5年度いわき地区高等学校演劇発表会 参加

**■茶華道部**  
 ◎いわき学校茶道連盟第53回合同発表会 参加

**■エネルギー研究会**  
 ◎2023ワールド・グリーン・チャレンジソーラーカー・チャレンジ エンジョイ1・クラス 第3位

**■鉄道愛好会**  
 ◎第15回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会 奨励賞  
 ◎第12回全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞

## 岸田文雄内閣総理大臣が本校を視察

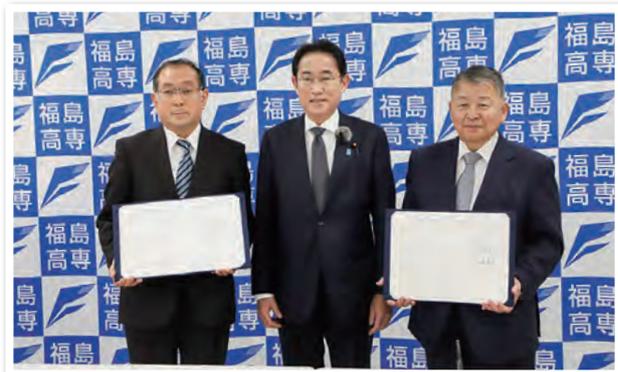
4月1日（土）、岸田文雄内閣総理大臣が本校を視察しました。

当日、福島県浪江町において福島国際研究教育機構（F-REI）の開所式が挙行政され、人材育成面での連携が期待される本校での視察が実現したものです。

視察は初めに、4月1日付で着任した田口重憲校長から学校概要、F-REIとの連携イメージについて説明があり、引き続き行われた本校とF-REIとの連携協力の締結式に立ち会いました。その後、廃炉創造ロボコンチーム及び高専ロボコンチームの学生によるプレゼンがあり、岸田総理から「楽しみながら技術を磨き、未来を大きく切り拓いて欲しい」と激励の言葉をいただきました。



田口校長による学校概要説明



連携協力協定の締結



廃炉創造ロボコンチームのプレゼン



高専ロボコンチームのプレゼン

## F-REI設立記念シンポジウムで発表

4月15日（土）、いわきワシントンホテルで開催された「福島国際研究教育機構（F-REI）設立記念シンポジウム」において、専攻科産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース2年の高橋知輝さん（指導教員：都市システム工学科 丹野淳助教）が登壇し、「再生可能エネルギーが創る福島の未来」と題して、自身の研究であるメタン発酵技術に関する研究及びF-REIへの期待について発表しました。

また、引き続き行われた山崎F-REI理事長がモデレーターを務めるトークセッションに参加し、「子供たちに対して積極的に研究と触れる機会を設け、理系の素晴らしさを伝えることが必要。研究への憧れが原動力となり、この福島浜通りから多くの理系人材が生まれるきっかけとなるような施設になってほしい」とF-REIへの期待を述べました。



発表を行う高橋さん



トークセッションの様子

## 「感動(かんどう)！ふくしま」プロジェクトの キックオフミーティングで本校学生が登壇

6月16日(金)、本校ビジネスコミュニケーション学科5年の川口ららさんと佐藤琴心さんが、福島県庁からの派遣依頼により、郡山市のビッグパレットふくしまで開催された「感動(かんどう)！ふくしま」プロジェクトのキックオフミーティングのトークセッション「こんな会社に入りたい！こんな会社はちょっと困る！私たちがこの会社を選んだワケ」で登壇しました。

このセッションは、県内製造業向けに、若手人材確保のために必要なことを考える場として開催され、内堀福島県知事と共に、県内製造業の若手社員、大学及び高専の学生、高校の生徒が登壇し、就職活動の際に意識していることについて話し合いました。



登壇した学生(左から佐藤さん、川口さん)



内堀知事(中央)と本校学生2名(右下)

## 全国高校生地方鉄道交流会で代表理事賞を受賞

8月18日(金)～20日(日)、伊達市を会場として開催された「第12回全国高校生地方鉄道交流会」の企画部門で、福島高専鉄道愛好会が「全国高校生地方鉄道交流会代表理事賞」を受賞しました。

この交流会は、全国の鉄道を愛する中学高校生が鉄道を軸とした地域活性化策を提案するもので、12回目となる今回は福島県から宮城県にかけて運行されている阿武隈急行線をターゲットとして全国から集まった11校の約110名でアイデアを競い合いました。

今回のテーマである「阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは」についての提案をビジネスコミュニケーション学科4年 熊谷優汰さんが発表し、初参加で受賞しました。



車両の運転席着席体験



企画案のプレゼンテーション

本校の企画案は、鉄道に加えてバスやタクシー、沿線の商店や宿泊施設などを使用できる「回数券」を発売するというもので、発表の中では、高齢者の利用し易さや読み取りシステムの導入が不要であること、チケットの購入時に割引の恩恵を受けられることなどのメリットを伝えました。

## 学科ホームページをリニューアル

9月1日(金)、福島高専 学科ホームページをリニューアルしました。本校ホームページメニュー内の「本科・専攻科」からアクセスできますので、ぜひご覧ください。

<主な変更点>

- 学科の特徴をわかりやすく掲載、カリキュラムの一部紹介
  - 教員紹介ページの追加
  - 在校生・卒業生の声、進路情報の追加
- ※学科ホームページ上部のプルダウンメニューから、他学科のホームページに移動できます。



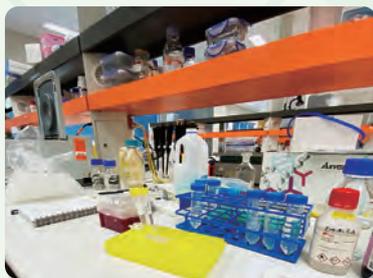
# 国際交流

## 海外インターンシップ

8月18日から9月22日にかけて、本校の学術交流協定校の1つであるオーストラリアのジェームズクック大学にて専攻科生1名が海外インターンシップを行いました。研究テーマは「タンパク質実験の手法を学ぶ」とし、現地の担当教員の研究室に配属され福島高専での研究内容をすすめました。また、福島高専でも行っている実験に加え、初めての実験操作や研究室特有の操作の工夫等を学びました。

学生からは、海外インターンシップをとおして、日常と違う環境でも一人で行動できる強さと、広い視野で物事を見る力を身につけることができたとの感想が寄せられています。

- ◆実験内容 ・タンパク質抽出 ・SDS-PAGE ・質量分析のためのサンプル精製
- ・担当教授によるワークショップ



## 外国人留学生交流事業

6月30日に、外国人留学生交流事業として浪江町の請戸小学校遺構と富岡町の東京電力廃炉資料館への見学旅行を実施しました。参加者は、引率教員2名のほか、本校の第3学年から第5学年までの長期外国人留学生6名及び、東北・北海道地区コンソーシアムの外国人留学生受入れ事業の一環として4～6月に受け入れている短期外国人留学生5名、さらにチューターとしてサポートする

日本人学生4名が同行し、合計17名が参加しました。留学生たちにとって、日本人学生自身の震災時の経験を聞きながら見学することで当時の状況をより身近に感じ、ここ福島が世界的にも特別な意味を持つ場所であることを改めて理解する貴重な経験になりました。また、福島の復興の現状に対して、より一層認識を深めることができました。



## 今後の国際交流事業の予定

昨年度末から海外派遣事業を再開しており、今後タイやアメリカへ学生派遣を行う予定です。タイでは、12月に開催される日タイ高校生サイエンスフェアに3年生が3名参加し、英語による研究成果発表を行う予定です。3月には本校主催の英語・タイ文化体験研修を実施する予定です。アメリカでは、3月にシリコンバレーにおいて、アントレプレナーシップの育成・グローバルな人材育成、およびプレゼンテーション能力向上を目指すStudy Tourを行う予定です。

長期留学生の交流事業としては、12月に担任やチューター学生との交流を目的としたポーリング大会を行う予定です。

磐陽寮では現在、約200名の学生が入寮し、親もとから離れて共同生活をしています。寮内では日々の勉強以外だけでなく各種イベントがあり、楽しく生活しています。右の写真は年に2回あるスポーツ大会の様子です（この時は体育館でバレーボールを実施）。この他にも寮食バイキングやカレー大会、餅つき大会など、良い思い出となるようなイベントを寮生が中心となって企画から実施まで行っています。



スポーツ大会の様子



若葉寮の外観



学習会



居室



リラックスタイム

昨年9月に竣工したばかりの若葉寮（女子寮）は個室と共有スペースからなるシェアハウス型構造となっており、プライベートと他の寮生とのコミュニケーションを両立させることができます。左の写真は個室と共有スペースでの学習会とその後のリラックスタイムの様子です。

さらに女子寮ということで、セキュリティ関連や各種アメニティが充実しており、清潔な環境で安心して快適に生活できるようになっています。

現在建設中の食堂棟の完成予想図です。実際には右側に若葉寮、左側には青葉寮に挟まれる位置関係になります。

2階建てになり、見晴らしもよく、食事以外にも各種イベントにも利用可能です。また東側（図手前）にはオープンテラスがあり、天気の良い日には外でくつろげるスペースとなります。是非、入寮して快適になった食堂を体験してもらいたいと思います。



食堂棟の完成予想図

## 学生保健センターの紹介

学生保健センター長 高橋宏宣

学生保健センターは3つの部屋を運営しています。「保健室」「学生相談室」「多目的支援室」です。各部屋の説明を通してセンターの活動を紹介します。

保健室には2名の看護師が常駐しています。コロナ禍中は体調不良の学生に原則帰宅してもらっていましたが、今年度より通常の運営に戻り、学生を受け入れています。近年はこれまでケガや火傷をしたことのない学生がふえ、傷や症状に不安を感じる学生がいます。その場合は、保護者の方に連絡したり、医療機関につないでいます。

保健室には、今年度シャワー付きの洗い場が設置されました。ケガや火傷で学生が来室したとき、傷口を洗って保護するのに大活躍しています。また、外階段の出入口にはインターフォンを設置しました。

学生相談室には3名のスクールカウンセラーが所属しています。月金は熊坂しのぶ先生、水木は菊地かず代先生、火は原田恵理先生にお越しいただいています。いずれも専門の資格を持ち、経験豊富です。学生から相談されたとき、教員は自分の経験に基づいてアドバイスしますが、カウンセラーは専門的な知見に基づき、科学的に確立している方法で学生の話聞き、解決策を提案します。カウンセラーはその道のプロフェッショナルですので、安心して学生をお任せください。



保健室の看護師



シャワー付きの洗い場



インターフォンを設置



スクールカウンセラー

多目的支援室は、その名の通り学生のような様々な状況に合わせて使用する部屋です。例えば、高まった感情をひとりクールダウンしたい学生、更衣室とは別の部屋で着替えたい学生、ひとりで弁当を食べたい学生などが利用します。看護師が学生の訴えを聞いたうえで支援室に導きますが、たいていの場合、学生はしばらく休むと教室へ戻っていきます。

福島高専に赴任して20年以上たちましたが、その間学生の気質は大きく変わりました。いわゆる「やんちゃ」な学生は減り、素直で気遣いのできる学生がふえました。これを別の面から見ると、コミュニケーションが重視される世の中で、周囲の環境や秩序に過度に適応しようとしているようにも思えます。その結果、疲れている学生がふえた印象です。学生保健センターは、スクールカウンセラーや学内の関係する教員と連携し、不調を訴える学生が元気を取り戻す方法を日々模索しています。これからも保護者の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 輝くりけじょを育てるプログラム ～ひとつ、ひとつ、実現するふくしま～ 「中学校での出前授業」を実施しました

本校は令和4年度よりJST公募事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、女子中高生とその保護者・教員が理工系分野への理解を深め、理系進路選択を考えるきっかけになるような様々な体験プログラムを実施しています。

その事業の一つのプログラムとして、6月29日（木）に平第二中学校の3年生を対象とした「出前授業」を実施しました。生徒は各班に分かれ、金属を溶かして様々な種類の「型」に流し込み、オリジナルのキーホルダーを作製しました。

今後も様々な体験プログラムを実施する予定ですので、女子中高生と保護者・教員の皆様の参加をお待ちしています。



## いわき市立小川中学校で「情報モラル教室」を実施

6月30日（金）、本校学生が、いわき市立小川中学校において「情報モラル教室」を実施しました。

講師を務めたのは、福島県警から委嘱されている「サイバー防犯ボランティア」のメンバーで今回はビジネスコミュニケーション学科の学生4名が、小川中の全校生徒約150名、教職員約20名、保護者約30名を対象に実施しました。

講義では、コミュニケーションツールの比較やSNS利用時の注意点、ChatGPTの使い方等について説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

本校では、今後も引き続きサイバーセキュリティの啓発活動を実施予定です。



講師を務めた学生



講義の様子

## 「化学への招待」を開催

8月19日（土）、イオンいわき店において日本化学会東北支部との共催で、化学実験の体験教室「化学への招待」を開催しました。

参加者は、「化学実験を体験しよう～フェイクスイーツを作ろう～」として、ポリウレタンの生成反応について、「起こす」「見る」「感じる」などを体験しました。2種類の溶液を混ぜることで発熱と発泡が起きてポリウレタンが生成すること、柔らかい発泡体が冷えて固まることを体験し、各自が発泡体にデコレーションをしてオリジナルのフェイクスイーツを作成しました。およそ120の方がブースに来場し、化学実験の体験を楽しんでいました。



実験の様子



# 福島KOSENコモンズ整備状況

福島高専60周年記念事業の一環として福島KOSENコモンズの整備を進めてきました。福島KOSENコモンズは、イノベーション、アカデミック、インターナショナルの3コモンズで構成されていますが、今回イノベーションコモンズの整備が完了しましたのでご紹介いたします。イノベーションコモンズの範囲は、正面玄関から工学池周辺および磐陽会館2階のカフェスペースです。特に大きく変化したのは工学池周辺の中庭です。工学池の外観を損なわず、学科や学年の枠を超えて出会いが生まれ、共に学び成長していくことをコンセプトに、池を埋めて築山にしました。築山の周辺には椅子やテーブルを配置し、学生・教職員は勿論のこと保護者や学外からのお客様もふらっと入ってこれる雰囲気としています。また、磐陽会館2階のカフェスペースには、キャッシュレスで購入できる軽食ブースも初めて導入しました。皆様には新しくなったイノベーションコモンズを有効に活用していただきたいと考えています。



中庭



正面玄関



カフェスペース（磐陽会館2階）

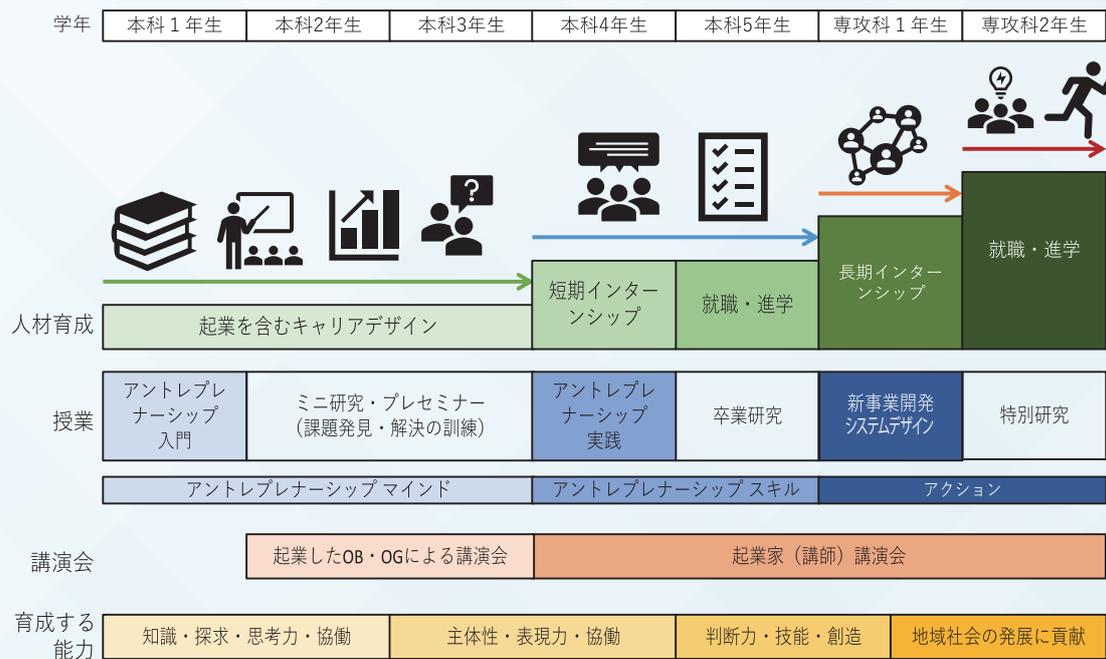


食堂（磐陽会館1階）

# 起業家育成プログラム (スタートアップ事業)

これまでの学校教育は「与えられた問題を正しく解く」ことに重点が置かれてきましたが、今後は「解くべき問題を自ら発見して積極的に解決する」ことが求められるようになってきました。このような教育は起業家に必要とされる能力と重なる部分が多いことから、アントレプレナーシップ教育が注目されています。本校では今年度から「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」に取り組んでいます。この事業は、試作品を作ることができる工房の整備と「アントレプレナーシップ講座」および「起業家講演会」の座学がセットとなったものです。工房は初心者が使えることを主眼に、簡単な機材から精密加工ができる専門的な機材まで幅広く揃えています。また、新しく開講した講座は単なる座学ではなく、グループワークやブレインストーミング等を主とするより実践的な内容です。将来的には福島高専出身の起業家が生まれてくれると良いと考えています。

## アントレプレナーシップ教育計画全容 俯瞰図



アントレプレナーシップ入門



ものづくりの試作を行うための工房



# 就任あいさつ

福島工業高等専門学校

校長 田口重憲

この4月に校長に就任して以来、はや半年が過ぎました。コロナ禍では、様々な活動が制約されていましたが、5月に第五類に移行したことに伴い、学生たちは徐々に本来の学生生活を過ごせるようになってきています。前任の山下校長から引き継いだ「持続可能な社会発展を目指し、グローバルに活躍する次世代技術者を育成する」というスローガンのもと、学生たちが、将来の躍進に向け、様々な体験をリアルにできるよう、学習環境を整えてまいりたいと思いません。

さて、就任以来、力を入れている取組について、いくつか説明をさせていただきます。

第一に、4月1日、校長への就任日ですが、この日に、福島高専に岸田首相が来校されました。福島の「創造的復興」の中核拠点として政府によりこの日に設立された福島国際研究教育機構（F-REI）の式典に出席なされた後に立ち寄りられたもので、本校から廃炉創造ロボコンへの取組等を説明するとともに、本校とF-REIとの連携のための基本合意書の締結に立ち会っていただきました。本校としては、F-REIの研究組織体制の充実状況に応じ、教育をはじめとした連携に取り組んでいくこととしています。なお、その一環として、3年生を対象としたF-REIの山崎理事長によるトップセミナーを9月に開催しました。

第二に、本校の創立60周年の際には、皆様や地元企業からいただいた寄付金により、地域の方々と本校の学生・教職員の交流の場としての「イノベーションコモンズ」の整備を進め、11月に完成しました。皆様のご協力に感謝申し上げ

げます。本校にお寄りの際はぜひお立ち寄りください。

また、本年度、キャリア教育を改善するとともに、全学でのアントレプレナーシップ教育の展開を開始しました。地元企業を中心とした福島高専協会の企業による特別活動の時間を活用したキャリア教育の実施、後期からの全学科を対象としたアントレプレナーシップ講座の開設、学生がアイデアを形にするための試作を行うための各種工作機械などを設置した工房の整備（今年度中に完成予定）をしています。また、専攻科生が社会人とともに学ぶ、カーボンニュートラル社会連携講座を地元企業（いわきカーボンニュートラル人材育成コンソーシアム）と協力し今年度も開講しました。

本校としては、「イノベーションコモンズ」の活用や地元企業との連携により、自ら考え、自ら行動する、チャレンジ精神に富んだ学生を育てていきたいと考えています。

第三に、グローバルな人材養成に関してですが、海外留学はこの数年中断を余儀なくされてきましたが、学生の国際交流はコロナ前の状況に戻りつつあります。学生が多様な経験を積み、グローバルな視点を持ち行動できる人材の育成に努めてまいります。

福島高専は、地域との連携を一層密にし、教育の質の向上・充実に取り組んでいきます。福島の浜通りに位置する高専として、その使命を認識し、今後も、教職員一同、日々努力を重ねてまいりる所存ですので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 三主事・専攻科長あいさつ



## 近況報告

教務主事  
緑川 猛彦

一昨年度より教務主事を拝命しております都市システム工学科の緑川です。よろしくお願いいたします。

ウィズコロナを反映し新学期から通常の授業を実施してきました。4月以来、いわき市内では新型コロナウイルス感染症の報告が増加しており学生からもポツポツと感染の報告がありますが、今のところ学級閉鎖等の対応を迫られることなく校内体育大会や4年生の学科行事も予定通り実施することになっています。

さて近年、変化する現代社会を生き抜くために、「与えられた問題を正しく解く」ことだけではなく、「自ら課題を発見し、自分事として捉えて解決する」能力や姿勢が求められるようになってきました。これらの教育は起業家に必要とされる精神や資質・能力の育成と同じであることから、アントレプレナーシップ教育が注目されるようになってきました。福島高専では文部科学省からの予算措置を受けて、ものづくりの試作を行うための工房の整備を進めてきたところですが、後期より新たにアントレプレナーシップ入門（1年生）とアントレプレナーシップ実践（4年生）の講義をスタートすることになりました。将来的には、学生自らのアイデアを工房で具体的な形にし、それを元に起業してくれる学生が生まれることを期待しています。



## 楽しい学生生活を！

学生主事  
笠井 哲

学生主事7年目、一般教科の笠井です。今年度は学生生活に関する制限を全廃し、平常に戻しています。7月に、学生会が「七夕飾り」を昨年の正面玄関に加え低学年棟にも設置し、9月に、従来通りの「校内体育大会」を実施しました。保護者の皆様には、11月4日に「磐陽祭」と「イノベーション commons」（60周年記念事業で中庭を中心に整備した学生・教職員・地域のステークホルダーとの共創の場）を、ご覧になった方もおられると存じます。また12月には、学生会主催の「クリスマスイベント」も行う予定です。お様が「福島高専で良かった」と思える楽しい学生生活を過ごせるよう支援します。

さて、今年度もお子様の安全・安心のため、保護者の皆様にご理解とご協力賜りますよう、チーム「学生委員会2023」に生活規則を掲載しました。問題行動の多くは、SNSトラブルが原因です。その撲滅を目指し、8月に弁護士が「SNS講演会」を、9月に福島県警察本部サイバー犯罪対策課の警察官が「情報モラル講習会」を実施しました。「チーム福島高専」は、ご家庭と学校だけでなく、専門家である警察官や弁護士、いわき市医療センターとも連携しております。どうか本校を信頼し、お子様をお任せください。何卒よろしくお願いいたします。



## 寮生の思い出づくり

寮務主事  
赤尾 尚洋

今年で寮務主事も2年目となりました機械システム工学科の赤尾です。

今年度の磐陽寮は4月に37名の新入寮生を迎え、在寮生192名でスタートしました。年度当初より

コロナ禍での規制が徐々に解除され、コロナ以前の日常を取り戻しつつありますが、現在も全国的に罹患者数は高止まりしており、校内でもイベントのたびに感染が広がる傾向がみられ、いまだ予断を許さない状況にあります。ただ寮生にとっては、寮での日常生活だけでなく各種イベント等での経験が成長につながると考えますので、寮内行事に関しましても、出来る限り実施するようにし、良い思い出が一つでも増えるように願っております。

さて磐陽寮の近況としましては、今年の5月～7月の約3カ月間、フランスおよびフィンランドから短期留学生を受け入れ、寮生が日常生活のサポートや文化交流を担ってくれました。また建物では、男子浴室を青葉寮棟の1階に移設するための工事及び新しい食堂棟が建設中です。

磐陽寮では今後も広く国内外から学生を受け入れ、様々な経験を通じて学生の成長につながるようサポートして参ります。保護者の皆さまにおかれましても、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 専攻科からはじめよう！

専攻科長  
齊藤 充弘

今年度より、専攻科長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

1年生20名、2年生28名でスタートした専攻科始業式において、「明

るく、元気で、魅力的な福島高専の創造にむけて、専攻科からはじめよう！」を合言葉に、「毎日楽しく生活をしていきましょう！」とあいさつをさせていただきました。田口校長先生の本始業式でのお言葉をそのまま専攻科生に対しても「他者への配慮を大切にしてください」、「挑戦を続けてください」、「震災復興の取組により関心を持ってください」と話しました。

コロナ禍の状況にも変化が生じて、この夏に海外留学に挑戦をした学生が複数名おります。また、日頃の研究成果をとりまとめて学会発表に挑戦をして、受賞した学生も複数名おります。さらに、福島国際研究教育機構の開設と本校との連携協力締結により、今後の教育・研究環境の更なる向上と挑戦が期待されます。2年間の専攻科での学生生活はあっという間に過ぎていきますが、本科での学生生活の経験をいかしながら、一日一日を大切に学習や研究に打ち込んで更なる知識や技術を身につけて行くことができるように、スタッフ一同学生とともに「あいさつの行き交う明るい環境」を創造していきたいと思っております。ご家庭におきましてもご支援、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

# 各科の近況 [本科]



## 一般教科の近況

一般教科長 吉村 忠晴

4月に一般教科長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

われわれ一般教科の教員は、工学系・ビジネス系専門教育の基礎となる専門基礎科目と、社会人として、エンジニアとして、ビジネスパーソンとして必須となる一般教養科目の授業を担当しています。主に低学年での授業を担当しており、学生たちが高専本科での5年間、さらにはその先の学習や研究の基盤となる知識やスキルを習得できるように尽力しております。

また、1年生と2年生のクラス担任を務めており、本校に入学した学生が、中学校とは異なる「高専」という新たな環境に順応して、高等学校とは異なる高等教育機関の「学生」としての自律的（自立的）行動ができるように、サポートやアドバイスを行っております。

なお、4月より、新たに物理担当の田中先生、端野先生、数学担当の田嶋先生、英語担当の大須賀先生、国語担当の渡部先生の5名の先生が、一般教科教員として着任されました。新たな力を得て、一般教科の教員は、学生たちが充実した高専生活を送ることができるように、より一層努力してまいりますので、引き続き皆様方のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 機械システム工学科の近況

機械システム工学科長 高橋 章

機械システム工学科になりまして7年目となりました。

今年度は新任教員を迎えることができました。今年4月に着任されましたのは山口直也先生です。山口先生は長岡技術科学大学の博士課程を修了されたばかりの若い先生で専門は「加工学」です。3年生の機械工作法Ⅱをはじめとして、1年生の機械システム工学概論、2年生の機械製図Ⅱ、4年生の設計製図Ⅱと工学実験を担当されています。課外活動ではバレーボール部の顧問をされています。

5年生の進路につきましては、9月末での状況で、国立大学編入学合格者が8名、専攻科入学合格者が4名、フィリピン短期語学留学者1名、就職内定者（県外）が21名、就職内定者（県内）が2名となっております。残る7名は今後決まっていきます。大学と専攻科進学合格者は合計12名で、例年よりは少ない進学者数となりました。

学生の活躍の例として、5月の「学校説明会」と9月の「体験入学」では、自ら熱心に説明するなど中学生などに対して真摯な姿勢を表して好感を持たれたようです。

今後も優秀な学生を育成するために機械システム工学科教員一同精励致しますので、ご家庭からのご支援・ご協力も引き続き宜しくお願い申し上げます。



## 電気電子システム工学の近況

電気電子システム工学科長 伊藤 淳

桜を迎えられた新学期から半年がたとうとしています。いつまで続くかと思われた猛暑も終わり、秋の気配が感じられる季節となりました。新入生42名と4年生への編入学生1名は、すっかり学校にもなじみ、元気に過ごしている様子です。5年生の進学や就職活動は順調に進み、ほぼ進路が決まっている状況です。4年生はインターンシップを経験し、企業見学を行うことで、将来の自分の進路について意欲を高めています。3年生以下の学生も、電気工事士などの資格試験に挑戦し自己の資質の向上に努めています。

令和4年度にタイで行われた「タイ・日本学生ICTフェア2022 (TJ-SIF2022)」では、3年生の学生2名（現在4年生）が、ミニ研究の成果をタイ首相の前で発表し高く評価されました。学生一人一人が意欲をもって、勉学や課外活動に取り組んでおり、有意義な学生生活を送っているように見受けられます。

中学生対象の学校説明会や体験入学では、学生主体によるデモ実験や学科の概要等の説明が行われ、学生が活発に活動していました。

学科内の設備として、基板加工機が導入されました。4年次の創作実習や卒業研究で電子回路の作製などに活用されます。また、AIに関する実験・実習を導入し、学生にとって、より魅力のある学科となるよう努めております。今後とも、教職員一同が教育や研究に取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 各科の近況 [本科]



## 化学・バイオ工学科の近況

化学・バイオ工学科長 内田 修司

新型コロナの5類への移行を受けて、徐々に規制を緩めております。保護者の皆様には、教育研究へのご協力、ご支援いただきありがとうございます。

今年度の本学科のクラス担任は、1C西浦先生、2C澤田先生、3C天野先生、4C梅澤先生、5C十亀先生と、5名の教員が担当しております。十亀先生のご指導もあり、5年生の進路は、進学、就職ともほぼ確定しました。4年生は9月26日・27日に学科行事を実施し、(株)明治、(株)日本触媒、筑波大学の3か所を訪問し、企業説明、研究紹介などご対応を頂き有意義な企画とすることができました。この10月から1～3年生対象に企業の方々から、様々なお話を伺う機会を設定するなど、進路に関する情報提供を開始しました。

今後も社会の要請に応えられる人材の育成に取り組みますので、よろしくお願いいたします。



## あなたも、まち（社会）のお医者さん！

都市システム工学科長 齊藤 充弘

都市システム工学科では、この4月に入学した1年生より建築系科目を導入して、卒業時に2級建築士の受験資格が得られる教育課程がスタートしました。この3月に卒業した5年生の中でも、複数名が大学の建築系学科に進学したり、公務員やゼネコンなどの建築部門もある事業所に就職したりしていましたが、今後はさらに専門性を高めた“まち（社会）のお医者さん”として活躍することができる場が大きく広がっていきます。

9月23日（土）～24日（日）には体験入学が開催され、5年生が学科の魅力を発信してくれました。担当者が順番に発表役を務めましたが、はじめは緊張して震える声で発表していた学生も回数を重ねるたびに自分の言葉で自信をもって発表することができ、授業内外でさまざまなことを経験しながら多くの学生がたくましく成長しています。同じく28日（木）～29日（金）には校内体育大会が開催され、1年生から5年生までのクラス・学科が一体となって臨み、見事2年連続で総合優勝を飾ることができました。このように、福島高専の財産である“まじめで素直に取り組む学生”が授業はもちろんのこと、学校行事を通してクラスや学科全体で協力し合って臨み、一体となって喜び、楽しむ姿勢をプラスさせながら人間的にも成長することを願い、見守る毎日です。ご家庭におきましてもご支援、ご協力いただけますようお願いいたします。



## ビジネスコミュニケーション学科の近況

ビジネスコミュニケーション学科長 湯川 崇

今年度のビジネスコミュニケーション学科は1年生が41名入学し、全部で198名が在籍しています。

入学式は新型コロナウイルス感染症への対応のため昨年同様、各学科別々の教室で行われましたが、5月8日から5類感染症に移行したことで、ゴールデンウィーク以降の授業や課外活動等の学生生活はほぼ通常通り実施することができています。

夏休み中に実施する4年生のインターンシップや学科行事、そして校内体育大会もコロナ禍以前と同じように行われました。今は11月に開催される磐陽祭に向けて各学年が準備を進めている最中です。

教員の異動については、8月に加藤裕美先生が赴任しました。加藤先生には大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業に関わる教員として学生の教育に尽力いただいております。

5年生の進路希望は就職が8名、進学が32名と例年より進学の割合が多い状況です。理系の大学の編入試験は一段落しましたが、文系の大学は秋以降に行うところが多く、進路が確定するのは年明けになります。

全員が希望する進路の目標を達成して卒業できるよう、教職員一丸となって支援してまいりますので、引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 各コースの近況 [専攻科]



## 生産・情報システム工学コースの近況

生産・情報システム工学コース長 植 英 規

本年度の生産・情報システム工学（PI）コースは、1年生4名、2年生4名の計8名から成り、それぞれ本科の機械システム工学科、電気電子システム工学科の出身者がちょうど半数ずつバランスよく在籍しております。COVID-19の影響も少なくなり、行動規制も緩和されたアフターコロナの生活スタイルに移行している中で、これまでのところ、専攻科での授業や研究は滞りなく進められています。1年生のインターンシップでは、本年度は原則として企業等の現場での実習を行うこととし、学生たちは夏季休業中にそれぞれの実習先で貴重な経験を積むことができました。2年生の進路についてもこれまでに全員の就職が決定しました。

ここ数年続いたウィズコロナの生活スタイルでは、オンラインによる活動の幅が大きく広がりました。一方、工学系の研究活動においては、現実の実験を重ねてデータを見ながら考察をしていくことも大変意味のある重要なことだと思います。特に2年生は修了までの残りの学生生活も短くなってきていますが、学生として悔いのないように、学校というリアルな場を活用して、勉学や研究に取り組んでほしいと思っています。



## エネルギーシステム工学コースの近況

エネルギーシステム工学コース長 鄭 耀 陽

今年度、エネルギーシステム工学コース（ESコース）の新入生は昨年度より2名減の4名で、在学中の2年生7名を加えると11名の在籍となります。今年度、ESコース4名の新入生のうち2名は本校機械システム工学科卒業生、2名は本校電気電子システム工学科卒業生となっています。生産・情報システム工学コースとエネルギーシステム工学コースは機械システム工学科と電気電子システム工学科卒業生より混成され、シナジー効果が期待されます。新型コロナウイルス感染の影響はまだ続いているようですが、大分落ち着いています。後期の講義や特別研究活動は通常の対面式で行われていてほぼ平穏な学校生活に戻っています。

7月12日は1年生の特別研究Ⅰ、7月19日は2年生の特別研究Ⅱの中間発表会が計画通り機械・電気分野ごとに分けて対面式で実施されました。2年生7名の進路については全員企業就職希望で内定をもらっているところです。また、去年体調不良で休学した1名の学生も順調に回復し復学しまして就職先も決まっています。

今後も本コースでは学生たちの充実した学校生活と研究活動を精一杯サポートしていこうと考えております。



## 化学・バイオ工学コースの近況

化学・バイオ工学コース長 柴 田 公 彦

今年度は化学・バイオ工学科卒業生4名を新入生として迎え、2年生5名とあわせて9名の学生が在籍しております。

1年生4名のうち3名はこれまで卒業研究を行ってきた研究室にそのまま所属し、残り1名は新たな研究室での研究活動がスタートしました。1年生は夏季休業期間に企業や大学等でのインターンシップを行いました。全員オンサイト（現地での対面）で実施できたことが昨年度との大きな違いです。約2週間の中国（大連東軟信息学院）での短期留学、約1ヶ月間のオーストラリア（ジェームズクック大学）でのインターンシップをそれぞれ1名ずつが夏季休業中に経験し、学生の海外研修も活発化してきました。1年生にはこれらの経験を、今後の進路について深く考えるきっかけにしてほしいと考えています。

2年生は修了および学位取得に向けて研究活動を中心とした学生生活を送っております。多くの学生が学会等において研究成果をすでに発表したり、あるいは年末にかけて発表する予定となっておりますが、今年度はやはりオンサイトでの発表が増えたことが特徴です。

今年度も残りわずかとなりましたが、引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 各コースの近況 [専攻科]



## 社会環境システム工学コースの近況

社会環境システム工学コース長 菊地 卓郎

今年度は2年生5名、1年生4名の合計9名が在籍しています。

2年生は全員進路が決定しており、就職が4名（就職先は公務員、国立研究開発法人、公益財団法人）で、大学院への進学が1名と各人の第1希望の進路となりました。昨年度の近況でお伝えしていました「専攻科修了後の進路を見据えた」インターンシップ先へ最終的な進路を定めた学生が多く、本校の教育システムを学生が十分に活用できた結果と言えると思います。そのようなインターンシップに今年の1年生も夏季休業期間に参加してきました。先輩たちが良い見本となり、将来を見据えた実習先で多くの貴重な経験を積んできたようです。

1、2年生ともに研究成果を学会などで発表し、令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会で研究奨励賞、第14回廃棄物資源循環学会東北支部&第10回日本水環境学会東北支部合同研究発表会で優秀発表賞を受賞する学生も出ています。

少人数教育のメリットを活かしながら、教員と学生が一体となって、今年度も教育・研究活動に励んでまいりますので、今後ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



## ビジネスコミュニケーション学コースの近況

ビジネスコミュニケーション学コース長 湯川 崇

今年度は1年生が4名、2年生が6名それぞれ在籍しています。

1年生で実施されるインターンシップは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから従来と同じように実施できるようになり、3名が企業や市役所で実施し、1名はフランスのITU（技術短期大学）ルアーブル校へ海外留学中です。授業では学ぶことができない社会人としての経験に触れることや、高専で学んだ語学力やコミュニケーション力を生かした海外での学習を通じて成長してくれることを期待しています。

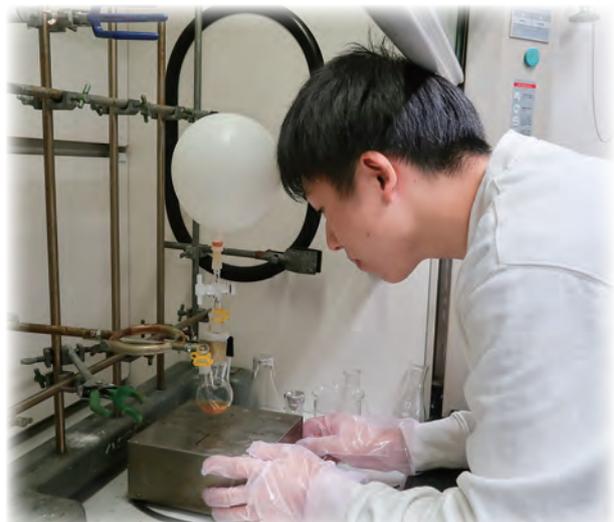
2年生の進路は5名が就職で、2名が県外企業、1名が地方公共団体から内定をいただきました。もう2名は起業する予定で準備を進めています。

2年生は現在、修了に向けて特別研究の成果をまとめて論文を執筆しています。福島高専専攻科は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の特例適用専攻科の認定を受けており、専攻科修了時に学士の学位を取得することができます。

専攻科は2年間という短い期間に、授業や特別研究、就職活動などやらなくてはいけないことが多くあります。これまでコロナ禍で活動が制限されていた分、存分に各自の個性を発揮して進路の目標を達成してもらいたいと考えております。



専攻科棟



専攻科生が実験している様子



## 機械システム工学科 助教 **山口 直也**

令和5年4月1日付けで機械システム工学科助教に着任いたしました、山口直也と申します。長野高専出身で、この3月までは長岡技術科学大学の博士課程に在籍していました。高専出身であり、学生の皆さんと歳が近いことを活かして、親しみやすく、頼り甲斐のある教員になっていきたいです。学生時代は金属とセラミックス両方の性質を持つ新材料の材料設計について研究をしていました。福島高専でも引き続きこの分野を発展させるべく、学生の皆さんと協力しながら研究活動を行っていきたくております。どうぞよろしくお願い致します。



## ビジネスコミュニケーション学科 特命助教 **加藤 裕美**

加藤裕美(かとうひろみ)と申します。いわき市平出身です。特技は英会話です。これまでは大学の情報科教員や、オントロジー工学の研究者として勤務していました。

専門分野は情報学で、担当科目は統計学・情報科学などの数理・情報関連科目です。

ビジネスコミュニケーション学科の皆さんと、福島県12市町村（広野町、葛尾村、飯舘村など）で浜通り地域の復興と人材育成プロジェクトに参加しています。

福島の人々と街並みに再会でき、心温まる交流ができることを嬉しく思います。どうぞ宜しくお願い致します。



## ビジネスコミュニケーション学科 特命助教 **金子 佳央**

本年度からのアントレプレナーシップ入門授業とものづくりの試作を行うための工房での作業や各種コンテスト応募などの手助けを担当します。

いわき市平出身。自ら起業後、ベンチャー勤務を経て、いわきリエゾンオフィス、商工会議所、大熊インキュベーションセンターなどで起業・企業支援に携わって来ました。好きな言葉は「一山一家」。ハワイアンセンターを創業し閉山の危機から社員を救った中村豊の起業家精神が感じられます。

皆が幸せで豊かに暮らすために、自分がやりたいことやできることは何か。一緒に考え悩み共に歩みます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 一般教科 講師 **大須賀 心綾**

4月より一般教科に着任した大須賀心綾と申します。高校教員として21年、教育センター長期研究員1年、同センター指導主事4年を経て今に至ります。専門は英語教育学（TESOL）で、ライティング指導、文法指導、非認知的能力と英語力との関係、外国語学習における男女差などを研究しています。研究の成果を自分の授業に取り入れながら、高専生の英語力だけでなく、思考力・判断力・表現力も育てられるような授業を目指して、微力を尽くして参ります。よろしくお願い致します。



## 一般教科 助教 **田嶋 和明**

令和5年4月1日付けで一般教科（数学科）に着任いたしました田嶋和明と申します。

専門は整数論、特に代数群の整数論について研究しています。

出身は山形県で、大学学部の4年間以外はずっと東北に住んでいます。

昨年度までは7年ほど東北大学や仙台高専で主に数学を教えていました。

私はモノ作りが好きで少年だったのですが、数学がひどく苦手で「お前は絶対に高専には入れない！」と言われた経験の持ち主です（笑）。ですので、皆さんの方がずっと素質があると思っています。そんな皆さんの力に少しでも役立てればと思っています。

# 職員紹介



## 一般教科 助教 **田中 佑希**

今年4月付けで一般教科の助教に着任した田中佑希です。名古屋大学で学位を取得後、国立天文台などの研究機関・大学で研究員として勤務してきました。専門は天文学・惑星科学の理論分野で、主にスーパーコンピュータによる数値シミュレーションを用いて、惑星がどのように形成され、進化してきたのかについての研究をしています。宇宙について興味がある人は、ぜひいろいろ聞きに来てください。講義は物理・応用物理を担当しています。専門科目の基礎となる物理を分かりやすく教えられるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 一般教科 助教 **渡部 裕太**

4月から一般教科（国語）に着任いたしました、渡部裕太です。専門は日本近代文学で、とくに戦後占領期の文学を中心に、作品研究と資料研究をおこなっています。

半期のあいだ学生の皆さんと関わり、その真面目さや成熟したありようにたいへん驚いています。皆さんの夢の後押しができるよう、国語科の立場から尽力したいと思います。

もし皆さんが頑張りすぎて息が詰まったときには、いちど研究室に遊びにきてください。息抜きにぴったりのフンガクを揃えていつでもお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 一般教科 助教 **端野 克哉**

令和5年4月1日付けで一般教科（物理）の助教に着任いたしました、端野克哉と申します。これまでは東京理科大学や北京大学でポストドクトラル研究員として在籍しておりました。専門分野は素粒子物理学で、主に素粒子であるヒッグス粒子に関する物理を研究しています。この分野に質問がある方や興味を持つ方は私の研究室を訪ねただけだと嬉しいです。

教員として経験不足な点も見受けられると思いますが、学生の皆さんを全力でサポートできるように日々研鑽を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 総務課 施設管理係長 **佐藤 志鶴真**

4月1日付けで総務課施設管理係長に着任しました佐藤志鶴真と申します。大学で15年間、施設系職員として工事監理や概算要求などの業務に携わってきました。

今回ご縁があり、初めて高専に異動となりました。

専門は建築で、大学では専門分野に特化した業務でしたが高専では大学とは違い、幅広い知識が求められます。初めて携わる業務も多く4月から悪戦苦闘の毎日ですが日々とても充実しており、施設系職員としてさらなるスキルアップを図れるチャンスだと思っています。福島高専の発展のために尽力したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします！

# 行事予定(後期)

※新型コロナウイルス感染防止対策のため変更となる場合があります。

2023年

11月

- 3日(金) 磐陽祭準備・磐陽祭前夜祭
- 4日(土) 磐陽祭
- 8日(水) TOEIC-IP試験(4年生)
- 11日(土) ~ 12日(日) 第20回全国高等専門学校デザインコンペティション2023 in 舞鶴(京都府舞鶴市)
- 21日(火) ~ 12月1日(金) 後期中間試験期間
- 25日(土) 専攻科社会人入試
- 26日(日) 全国高等専門学校ロボットコンテスト2023 全国大会

12月

- 9日(土) 福島県中学生ロボット競技会
- 13日(水) 学生会役員選挙
- 23日(土) 第8回廃炉創造ロボコン  
冬季休業開始(1月8日(月)まで)  
閉寮
- 27日(火) 学校閉鎖期間(1月3日(水)まで)

2024年

1月

- 7日(日) 閉寮
- 9日(火) 授業開始
- 10日(水) 専攻科特別研究Ⅱ発表会(2年)
- 13日(土) 推薦入試  
寮スポーツ大会

2024年

1月

- 20日(土) 卒業研究発表会(電気)
- 24日(水) 専攻科特別研究Ⅰ発表会(1年)
- 27日(土) ~ 28日(日) 第17回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト(東京都)
- 31日(水) 特別補講日

2月

- 1日(木) ~ 7日(水) 後期期末試験期間
- 11日(日) 学力入試
- 15日(木) 後期授業最終日
- 16日(金) ~ 20日(火) 補講期間
- 20日(火) ~ 21日(水) 卒業研究発表会(化学・ビジコミ)
- 21日(水) ~ 27日(火) 再試験期間
- 22日(木) 卒業研究発表会(機械・都市)
- 29日(木) 終業式・寮送別会

3月

- 2日(土) 閉寮
- 15日(金) 卒業証書授与式・修了証書授与式(いわき芸術文化交流館アリオス)

## 入学試験の日程

### 本科

一般推薦ならびに課題達成型推薦による選抜	WEB入力期間	令和5年12月5日(火) ~ 12月20日(水)
	検定料支払期間	令和5年12月5日(火) ~ 12月20日(水)
	出願期間	令和5年12月18日(月) ~ 12月21日(木)
	面接日	令和6年1月13日(土)
	内定通知日	令和6年1月23日(火)
	入学確約書提出期限	令和6年1月30日(火)
学力検査による選抜 帰国子女特別選抜	WEB入力期間	令和5年12月5日(火) ~ 令和6年1月24日(水)
	検定料支払期間	令和5年12月25日(月) ~ 令和6年1月24日(水)
	出願期間	令和6年1月22日(月) ~ 1月25日(木)
	検査日	令和6年2月11日(日)
	合格発表日	令和6年2月20日(火)
	入学確約書提出期限	令和6年2月27日(火)

### 専攻科

推薦による選抜	出願期間	令和5年5月10日(水) ~ 12日(金)
	試験実施日	令和5年5月19日(金) (本校以外からの出願者のみ)
	合格発表日	令和5年5月25日(木)
	入学確約書提出期限	令和5年6月2日(金)
学力試験による選抜	出願期間	令和5年6月7日(水) ~ 9日(金)
	試験実施日	令和5年6月17日(土)
	合格発表日	令和5年6月22日(木)
	入学確約書提出期限	令和6年1月12日(金)
社会人特別選抜	出願期間	令和5年11月15日(水) ~ 17日(金)
	試験実施日	令和5年11月25日(土)
	合格発表日	令和5年11月30日(木)
	入学確約書提出期限	令和6年1月12日(金)

#### 本号の表紙

磐陽会館2階のカフェスペース「ひだまりカフェ」。化学・バイオ工学科2年 鈴木美桜さんが命名。「いわきを照らす磐陽の意味を残しながら、みんなに親しみを持ってもらい、固くなく、優しいネーミングを」との思いから考案されました。

#### 編集後記

本号では、学生の皆様の活動を中心に紹介出来るよう、誌面構成に工夫をこらしました。より良いものにしていきたいと考えておりますので、ご意見等ございましたら総務・広報係までご連絡いただけますと幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。